



～日の出～

湖山で撮影した日の出です。低空の薄雲のおかげで、眩し過ぎることなく太陽を写せました。
(2013.3/9, EOS7D, EF70-200mmF4L USM で撮影)

撮影者：三須 幸一郎 (知財部門長)

1月の特許相談会

※今月は鳥取地区のみで開催します。相談をご希望の方は予約をお願いします。

【鳥取地区】

相談員：下田 一弘 弁理士
(機能性材料・バイオ・太陽電池関係他)
日 時：1月8日(金) 13:30より
場 所：産学・地域連携推進機構 2階 会議室

相談員：富田 憲史 弁理士
(医獣・バイオ関係他)
日 時：1月8日(金) 13:30より
場 所：産学・地域連携推進機構 2階 研修室

【目 次】

1月の特許相談会	1
第57回鳥取県発明くふう展表彰式	2
【お知らせ】「鳥取大学特許集2016」の発行について	3
【報 告】第7回産学連携学会関西・中四国支部研究・事例発表会 新年のご挨拶	4
【報 告】特許相談会・発明審査委員会の件数	

第57回鳥取県発明くふう展表彰式



- ❖ 日 時：平成27年12月6日（日）10：30～11：30
- ❖ 場 所：鳥取県立図書館 2階大研修室（鳥取市尚徳町101）
- ❖ 主 催：一般社団法人鳥取県発明協会

三須先生が審査委員長を務めている、鳥取県発明くふう展の表彰式が行われました。19作品が特賞を受賞し、6作品がアイデア賞を受賞しました。本学学生は、一般の部で特賞を受賞しました。受賞者には、賞状、賞牌、賞品が贈呈されました。

賞 名	作品名	氏 名
鳥取県商工会議所連合会会長賞	加湿木	小野 真弘 倉敷 凌太 太田 悠介 中村 茉樹
鳥取県中小企業団体中央会会長賞	コミュニケーションロボット	瀬越 咲良
日本弁理士会中国支部長賞	シカ角ソムリエナイフ	新林 千佳 寺本 清華 森 杏子



コミュニケーションロボット



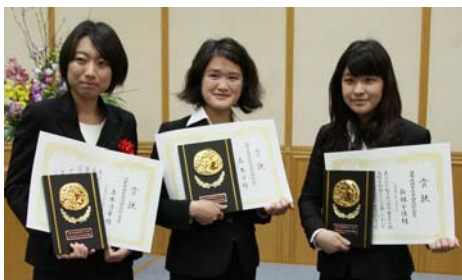
加湿木



シカ角ソムリエナイフ



コミュニケーションロボット・加湿木 受賞者



シカ角ソムリエナイフ 受賞者



全受賞者

三須部門長コメント

応募作品はどれも素晴らしいものばかりでしたが、その中で鳥取大学学生による3点もの作品が入賞しました。作品そのものの素晴らしさもありますが、作品に込められた「想い」が特に輝いていたと思います。

本作品はものづくり教育実践センターによる授業の成果であり、発明くふう展への応募にご協力頂いたことをこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

三須 幸一郎

現在、「鳥取大学特許集 2016」を発行に向けて準備中です。掲載案件は 57 シーズあり、そのうち 12 シーズは新しく掲載するものです。発行は、3 月を予定しています。

技術分野	技術の名称【副題】	代表発明者 (出願時所属部等)
医療・健康	NEW 神経性食欲不振症発症リスク評価のための自己身体イメージ測定ソフトウェア【思春期やせ症の早期発見ツール】	花木 啓一(医学部)
	NEW ゴルジ体・リソソームを標的とした薬物輸送リポソーム【ポリヒステジン修飾リポソーム(H16-Lipo)の開発】	岩崎 崇(農学部)
	NEW 手術ロボット鉗子の力帰還装置、手術ロボットシステムおよびプログラム	西田 信一郎(工学研究科)
	NEW ポリープ等の切除、回収を効率的に行う内視鏡用デバイス	松本 和也(医学部附属病院)
	NEW マリンナノファイバーの創傷治癒促進効果	東 和生(農学部)
	NEW 腫瘍組織を標的とした薬物輸送ペプチド【ポリヒステジンペプチド(H16)の発見】	岩崎 崇(農学部)
材料・化学	NEW 生物の機能を利用した温和な条件でのシリカ形成	清水 克彦 (産学・地域連携推進機構)
	NEW 樹木の細胞壁を模倣したリンクル表面材料【グリーンな素材とプロセスで創るバイオベースリンクル表面】	井澤 浩則(工学研究科)
	NEW 有機-無機ハイブリッド型紫外線光検出器【次世代 PET 応用へ向けた技術シーズ】	阿部 友紀(工学研究科)
情報・制御	NEW 記載必要項目の抽出と文章作成支援【教師あり機械学習と情報抽出技術と辞書を利用した文章改善】	村田 真樹(工学研究科)
	NEW 運動機能診断装置及び方法、並びにプログラム	櫛田 大輔(工学研究科)
	NEW プライバシーを保護しながら統計情報を共有する方法	櫻間 一徳(工学研究科)

報告

産学連携学会関西・中四国支部 第7回研究・事例発表会

- ★日時：平成 27 年 12 月 10 日(木) 13:00~18:05、12 月 11 日(金) 9:00~11:50
- ★会場：高知工科大学永国寺キャンパス 地域連携棟 4 階多目的ホール
- ★発表者：○山岸 大輔*¹、三須 幸一郎*¹、清水 克彦*¹、児玉基一郎*²
(*¹ 産学・地域連携推進機構、*² 大学院連合農学研究科)
- ★テーマ：地域志向性知的財産マネジメントについて～ブランド商品開発検討会の取組～

12 月 10 日～11 日に高知県で開催された第 7 回産学連携学会関西・中四国支部会において、上記発表を行いました。本発表は、地域活性化の取組における知的財産マネジメントに関して、鹿野町における事例を紹介致しました。

【予稿集 URL】

<http://www.sgrk.shimane-u.ac.jp/j-sip-B150/meeting/7th-2015/M7-proc/home.htm>



新年のご挨拶



明けましておめでとうございます。

本学知的財産をより一層大きく展開できるように、知財部門一同精進して参りますので、これまで以上の皆様のご支援よろしくお願い致します。

三須 幸一郎

大学特許の技術移転件数も年々増加し、商品化される案件も多くなってきました。研究に関する知財戦略として、研究開始前からでも気軽にご相談ください。

山岸 大輔

今年は60年ぶりの「丙申（ひのえさる）」の年との事で、これまでの頑張りが形になっていく年だそうです。「実」と成るよう信じて頑張りたいと思いますので、今年もどうぞよろしくお願い致します。

太田 紀子



昨年から年始にかけて、雪のない天候となりました。このようなお正月は珍しいですね。また、スキー場に活気がないことがとても寂しいです。来シーズンは活気づくよう、しっかり雪が降ってほしいものです。本年もどうぞよろしくお願い致します。

松浦 由美

12月の件数



知財部門による特許相談件数 6件

定例特許相談会の件数

下田一弘 弁理士(機能性材料関係他) 1件

発明審査委員会の件数 2件

*** 刊行物 ***
知財部門ニュース
み・ん・なのニュース1月号
<106号> (通番135号)
2016年1月1日発行
編集・著作：
知的財産管理運用部門
発行：鳥取大学
産学・地域連携推進機構

*** 特許等の相談 ***

相談員： 三須 幸一郎 (部門長・教授) TEL：0857-31-6000(直通)
(又は内線2765)

山岸 大輔 (副部門長・准教授) TEL：0857-31-6094(直通)
(又は内線4072)

場 所： 産学・地域連携推進機構 2F 知的財産管理運用部門

E-mail アドレス：chizai@adm.tottori-u.ac.jp

FAX 専用：0857-31-5474 (又は内線2771)

産学・地域連携推進機構 HP：<http://www.cjrd.tottori-u.ac.jp/>